



# ははの湯 できました

“土”には多くの生き物や植物のタネが含まれており、  
“土の移動”とともに、それらが母島へやってきます。  
土と一緒にやってきた生き物や植物のタネ（外来種）  
は、ときに母島島民の生活や農業、豊かな自然に大きな影響を与えます。

土付きの苗の移動に伴う外来種の侵入を防ぐため、  
沖港に 土付き苗 のための温浴処理設備「ははの湯」  
を開設します。

## 「ははの湯」の対象

母島へ持ち込む、土のついた苗  
(鉢、ポット)

※農業用のものも家庭で鑑賞・栽培するものも、全てが対象です。

### 注意!

父島をはじめとする  
イエシロアリ生息地域からの  
苗の持ち込みは、村の条例で  
禁止されています！



リクビモムシ

## 「ははの湯」の効果

土付き苗に潜む外来種をお湯により死滅させることで、母島の生活、農業、豊かな自然環境を守ります。

## 温浴までの流れ

**予約方法** 2~3日前には環境省母島事務室  
(04998-3-2577)へお電話を  
「ははの湯」はご予約があった場合にのみ開設します。



鉢やポットをお湯につけ、  
43℃・15分で処理します。



温浴処理後、苗を冷却して完了！  
全工程の所要時間は40分～2時間程度です。

- ① 苗を母島へ持ち込む場合は沖港留めで注文
- ② 到着日が分かったら事前に予約を(苗の数や種類、大きさ等をお伝えください)
- ③ 苗を受け取ったら、家に持ち帰らずに「ははの湯」へ



写真はイメージです。



かばんに付着する  
ニューギニアヤリガタ  
リクウズムシ

Column

## 土付き苗に潜むリスク

世界自然遺産の顕著で普遍的な価値の一つである陸産貝類(マイマイ)ですが、父島では、土の中にまぎれて侵入したニューギニアヤリガタリクウズムシにより、壊滅的な被害を受け、野生下では絶滅の危機に瀕しています。

また、近年母島で確認された外来種アジアベッコウマイマイは、父島では確認されておらず、直接母島へ持ち込まれた可能性があります。

このように外来種は「いつ」「誰が」持ち込んでおかしくない状況です。



### 「ははの湯」は、

- 土の中に潜んでいる外来種の侵入リスクを減らすことができますが、ゼロにはできません。
- そのため、土付き苗を島外から持ち込まないことが最も効果的な対策といえます。



シマギョクシンカ



コガネカタマイマイ



オガサワラオカモノアラガイ



ハハジマノボタン

• 苗が必要な場合、タネから育てることも、母島の自然を守るために配慮になります！



母島の生活、農業、自然を守るために、ご協力をお願いします。

この取組みは、小笠原諸島世界遺産地域科学委員会内の部会である”母島部会”において、議論を重ね、母島における「自主ルール」としてまとめたものです。

母島島民のみなさん、母島へご来島のみなさんは、この「自主ルール」へのご理解、遵守・徹底をお願いします。

母島の固有種「オトメカタマイマイ」  
外来種によりカタマイマイの仲間は父島で激減



お問い合わせ先

苗の温浴

環境省 小笠原自然保護官事務所 母島事務室 04998-3-2577  
父島(世界遺産センター) 04998-2-7174

イエシロアリ生息地からの  
苗の持込み

小笠原村役場  
04998-2-3111